

岡山市英語教育改善プラン

1. 英語教育の状況を踏まえた目標及び達成するための取組

① CAN-DO リスト形式による学習到達目標の設定、公開の状況、到達度の把握

【現 状】	中学校	：設定 100%	公表 7.9%	把握 18.4%	
	高等学校	：設定 100%	公表 0%	把握 100%	（平成 3 1 年度）
【目 標】	小学校	：設定 100%	公表 50%	把握 50%	
	中学校	：設定 100%	公表 50%	把握 50%	
	高等学校	：設定 100%	公表 100%	把握 100%	（令和 3 年度）

- ・本市では平成 2 9 年度より、全中学校（3 8 校）、高等学校（1 校）において「CAN-DO リスト形式」の学習到達目標が設定されているが、公表や目標達成状況の把握している学校は少ない。
- ・来年度は、中学校では新学習指導要領の趣旨に基づき、「CAN-DO リスト形式」の学習到達目標を改めて設定、小学校では初めて設定することになるので、目標設定の際のポイントや好事例を紹介することにより、各学校における実効的な目標設定や活用を推進する。

② 生徒が授業において英語による言語活動時間を行う時間の割合

【現 状】	中学校	：第 1 学年 65.7%	第 2 学年：63.2%	第 3 学年：71.6%	
	高等学校	：第 1 学年 57.1%	第 2 学年：66.7%	第 3 学年：100%	（平成 3 1 年度）
【目標値】	中学校	：第 1 学年 75.0%	第 2 学年：75.0%	第 3 学年：75.0%	
	高等学校	：第 1 学年 75.0%	第 2 学年：75.0%	第 3 学年：100%	（令和 3 年度）

③ 英語担当教員の授業における英語使用状況

【現 状】	中学校	：70.7%	高等学校：93.3%	（平成 3 1 年度）
【目標値】	中学校	：75%	高等学校：100%	（令和 3 年度）

④ 生徒の英語力 求められる英語力を有する生徒の割合（%）

【現 状】	中学校	：41.9%	高等学校：19.3%	（平成 3 1 年度）
【目標値】	中学校	：45%	高等学校：45%	（令和 3 年度）

生徒の英語による言語活動の時間の割合や英語担当教員の英語使用状況は、改善傾向にあるものの、全国平均よりも低い状況が続いている。文法等の説明や問題演習に多くの時間が割かれており、生徒の言語活動に十分な時間が使われていないことが考えられる。

「英語教育推進指定校事業」等の公開授業を通して、求められる言語活動の在り方について共有したり、「英語指導力向上研修講座」を通して、書くことや話すことの効果的な指導方法等について共有したりすることで授業改善を推進し、生徒の英語力の向上を図る。

⑤ パフォーマンステストの実施状況

【現 状】中学校 : 第1学年 スピーキング 66回 ライティング 39回
第2学年 スピーキング 85回 ライティング 67回
第3学年 スピーキング 85回 ライティング 52回
高等学校 : コミュニケーションⅠ 0回 コミュニケーションⅡ 0回 コミュニケーションⅢ 0回
英語表現Ⅰ 0回 英語表現Ⅱ 0回 (平成31年度)

【目標値】中学校 : 第1学年 スピーキング 115回 ライティング 75回
第2学年 スピーキング 115回 ライティング 75回
第3学年 スピーキング 115回 ライティング 75回
高等学校 : コミュニケーションⅠ 3回 コミュニケーションⅡ 3回 コミュニケーションⅢ 3回
英語表現Ⅰ 3回 英語表現Ⅱ 3回 (令和3年度)

パフォーマンステストの実施回数が少ないことから、「表現」の能力を評価する手段としてペーパーテストの比重が大きくなっていることが考えられる。

そこで、担当者説明会において、パフォーマンステストの設定の際のポイントや実際の生徒の発言や文章を用いた評価方法に関する説明を行うことにより、中学校ではスピーキングテストを3回、ライティングテストを2回以上実施、高等学校では各科目でスピーキングテスト、ライティングテスト合わせて3回以上実施することを目指す。

⑤ 求められる英語力を有する英語担当教員の割合

【現 状】中学校 : 28.9% 高等学校 : 83.3% (平成31年度)

【目標値】中学校 : 35.0% 高等学校 : 100% (令和3年度)

中学校のモデル校6校に英会話スクール等の講師を派遣し、英語担当教員が勤務校で英会話レッスンを受けることで、英語力の向上を図る。また希望者に対して、4技能を測定する民間検定試験の検定料を全額助成することにより、英語担当教員の自己研鑽の促進を図る。

外部団体のプログラムにより、児童生徒の英語力向上を図る授業づくりに必要な英語力(発音や強勢・リズム・イントネーションを意識した発話や児童生徒の発話や行動に対する適切な言い直し等)に関する研修を実施し、教員の英語力に関する意識向上を図る。

⑦ 小学校の新規採用者に占める一定の英語力を有する者の割合

【現 状】 8.1% (令和3年度採用)

【目標値】 10% (R3) → 20% (R4) → 30% (R5) → 40% (R6) → 50% (R7)

教員採用選考試験において有資格者に対して優遇措置制度を設けたり、外部検定試験の検定料の全額助成を行い、受検を奨励したりすることにより、新規採用者に占める一定の英語力を有する者の割合を高める。

2 研修の体系と内容の具体

- ・ 小学校外国語活動・外国語研修講座（年2回実施：基礎・応用）
 対象：英語担当教員（参加予定：のべ70名程度）
 研修目的：英語担当教員の指導力向上
- ・ 英語指導力向上研修講座（年2回実施）
 対象：小学校外国語教育担当者・中学校英語科教員（参加予定：のべ260名程度）
 研修目的：英語科教員の指導力向上，英語力向上
- ・ 英語推進指定校事業に係る公開授業研究会（年3回実施：小学校2回，中学校1回）
 対象：小学校外国語教育担当者・中学校英語科教員（参加予定：130名程度）
 研修目的：英語担当教員の指導力向上
- ・ 特色教育推進事業に係る公開授業研究会（年2回実施）
 対象：小学校教員（参加予定：80名程度）
 研修目的：英語担当教員の指導力向上
- ・ 学習指導要領岡山市説明会
 対象：小学校外国語教育担当者・中学校英語科教員（参加予定：130名程度）
 研修目的：英語担当教員の指導力向上

3 年間事業計画

月	岡山市の取組	外部専門機関等
6～8月	英語指導力向上研修講座①A（分散開催）	外部講師
7月	英語指導力向上研修講座①B	外部講師
7月	小学校外国語活動・外国語研修講座（基礎）	
8月	小学校外国語活動・外国語研修講座（応用）	
10月	特色教育推進事業 公開授業研究会（小学校）	大学教員
10月	英語教育推進指定校事業 公開授業研究会（小学校）	文部科学省調査官
10月	英語教育推進指定校事業 公開授業研究会（中学校）	文部科学省調査官
11月	英語教育推進指定校事業 公開授業研究会（小学校）	文部科学省調査官
1月	特色教育推進事業 公開授業研究会（小学校）	大学教員
2月	英語指導力向上研修講座②	大学教員
未定	学習指導要領岡山市説明会	

4 実施体制



